

Rotary



# 白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

2023～2024年度クラブ目標

創立1986年

『みんなが楽しい ロータリー』



世界に希望を生み出そう

2023-24年度国際ロータリーテーマ

会長 佐藤幸彦  
幹事 村上堅二



## 第1779回例会

令和5年10月19日(12:30～13:30)

○ソング

- 我等の生業

○ビジター

有限会社山口こうじ店 山口和真様、県南分区ガバナー補佐 佐藤靖一様、県南分区パストガバナー補佐 郡部仁喜様、  
県南分区幹事 難波恭二様、白河南RC会長 鈴木清次様

○スマイルBOX

●県南分区ガバナー補佐 佐藤靖一様、県南分区幹事 難波恭二様（本日二回目の訪問になります。よろしくお願いたします！）

●パスト県南分区ガバナー補佐 郡部仁喜様（白河西RCの皆様こんにちは。前年度中のご挨拶が本日になりまして申し訳ありません。今日はよろしくお願いたします。ニコニコ！）

●白河南RC会長 鈴木清次様（本日はお邪魔いたします。よろしくお願します。）

●佐藤幸彦会長（県南分区ガバナー補佐 佐藤靖一様、パストガバナー補佐 郡部仁喜様、幹事 難波恭二様、白河南RC会長 鈴木清次様、ようこそ。山口こうじ店 山口和真様、ありがとうございます。）

●金田昇会員（ガバナー補佐 佐藤様、パストガバナー補佐 郡部様、分区幹事 難波様、白河南RC会長 鈴木様、ようこそ。）

●遠藤敦会員（白河南RCの皆様いらっしゃいませ。米山功労賞感謝状頂きましてありがとうございました。又11月19日結婚記念日を迎えます。50年間付き添った妻に感謝します。）

●佐藤清作会員（金田昇さん、2026年7月よりの年度のガバナー就任決定おめでとうございます。私も金田昇ガバナーの地区大会参加ができることを目標といたします。先週の例会で永野さん、卓話ありがとうございました。私のスマイル報告は間違いましたね。先週と今週はオンラインの出席です。）

●永野文雄会員（ガバナー補佐 佐藤靖一様、パストガバナー補佐 郡部仁喜様、補佐幹事 難波恭二様、南クラブ会長 鈴木清次様。ゲストの山口和真様、ようこそ。）

●池田浩章会員（県南分区ガバナー補佐 佐藤靖一様、同パストガバナー補佐 郡部様、同幹事 難波様、白河南RC会長 鈴木様、ようこそ。山口和真様、卓話ありがとうございました。）

●増子国安会員（とりあえずスマイルします。）

### ▶第1779回例会出席状況 (R5年10月19日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	52名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	66名
Ⓒ ①の出席者数	25名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	8名
Ⓕ ②の出席者数	9名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	42名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	61
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	68.8%

### 【今週の仮メイクアップ会員】

- 10月18日 米沢中央RCゴルフコンペ  
車田祐介、前原俊治、十文字光伸、宮本多可夫（免除）
- 10月15日 職業奉仕セミナー 青木大
- 10月14日 地区行事出席 中目公英
- 10月10日 喜多方ロータリークラブ 藤田龍文
- 9月2日 野球大会 藤田龍文
- 8月22日 白河RC 村上堅二
- 8月4日 米沢RC 松永紀男

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

佐藤幸彦会長



皆さん、こんにちは。まず初めに、本日のお客様を紹介させていただきます。県南分区ガバナー補佐、佐藤靖一様。同じく、県南分区パストガバナー補佐、群部仁喜様。同じく、県南分区幹事、難波恭二様。白河南ロータリークラブ会長、鈴木清次様。もうひとつ、本日卓話をいただきます「山口こうじ店」山口和真様。後程、全員から一言づついただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたしますと思います。

さて、10月になっておりますが、10月は神無月。皆様もご存じかと思いますが。出雲の国のほうでは、神在月（かみありつき）と呼ぶそうでございます。全国の神様が出雲の国に集まってしまうために、出雲の国では神在月と呼ぶそうでございます。先程、南湖神社の宮司様に確認しましたところ、本当に神社に神様いなくなっちゃうんですかといったら、心配いりません、ちゃんといますからということです。安心して南湖神社さんのお参りしていただければと思います。さて、秋、10月、食欲の秋、実りの秋、読書の秋、等々いろいろ秋にまつわる言葉あるかと思うんですが、秋刀魚、松茸、栗、柿、等々美味しい季節になってまいりました。また見頃としましては、コスモス、菊等々、紅葉もそうでございますが、いろいろな見頃もありますし、食べ頃もある。また、ハロウィン等。または、体育の日等。いろいろ行事も盛沢山ではございますが、皆様、食べすぎ、飲みすぎには十分注意されて、楽しい素晴らしい秋を過ごしていただければと思います。

さてロータリーでございますが、来週、J C・Y E Gの交流会がございますので、皆さん多数出席いただければと思います。また、2か月後の話になりますが、12月14日クリスマス例会が「エキシブ」で行われるわけでございますが、一番最初に話したかと思うんですが、白河西ロータリー一夜限りの楽団を結成中でございます。前にも同じ話をして恐縮なんです、ご自分で楽器を持っていて何とかできると。また、奥さま、お孫様等々、お誘い合わせの上、クリスマス例会の時にみんなの前で演奏していただけたらと思っております。着々話進んでおりますので、ご希望のある方は吉成委員長までよろしくお願ひしたいと思ひます。さて、今日はいろいろ挨拶等々、あと卓話でございますので、よろしくお願ひします。

### ■幹事報告

村上堅二幹事



○白河市国際交流協会会長 内藤義久：「白河市国際交流協会会報 vol.25」の送付について

○米山記念奨学会事務局長 柚木裕子：ハイライトよねやま283号

○ガバナー事務所：2023-24年度地区補助金支給予定一覧表

○米山記念奨学会理事長 若林紀夫：感謝状（礼状）及び法人申告用領収書送付の件

○みつやま喜一連合会後援会会長 川崎眞策：みつやま喜一出陣式のお願い

○ガバナー 右近八郎、青少年奉仕委員会委員長 大木和彦：地区大会「青少年奉仕活動発表」及び「青年会議」のお知らせ

### 来賓・来訪者の紹介

○2023-2024年度県南分区ガバナー補佐 佐藤靖一様



皆さん、こんにちは。本日、第二回目のクラブ訪問ということで、先々週から各クラブ回りまして今日が最後となっております。西クラブさん、メンバーの方ほとんどの方が顔見知りなので、なんかホームに戻ってきてるような気がします。県南分区のほう明日、第二回目の会長幹事会をボルドーさんで行う予定になってまして。ガバナーのほうから、来月の11日、12日の地区大会に沢山のご参加をお願いしてこいということだったので、できるだけ参加をお願いします。あとは、うちのほうでIMを来年の2月3日土曜日、「エキシブ」のほうで予定しておりますので、そちらのほうにも是非ご参加いただけますようお願いして挨拶とさせていただきます。

○県南分区幹事

難波恭二様



皆さん、こんにちは。人って一人で生きていけなくて、やっぱり逆らえない先輩がいて、佐藤靖一さんというんですけど。後ろ振りむいたら、恭ちゃん、そこにいるだけでいいからちょっと手伝ってっていう軽いお誘いでこの幹事、今受けとります。逆にそれを受けたことによって、やはりナンバー2というか、かばん持ちの立場で冷静に各クラブさん訪問させてもらって、こんなところいいよね、ああ、ここはこういうふうにしたら、うちにプラスになるよねなんてことで。かなりすごく勉強させてもらって、すごく良い立場で今、私させていただきます。今日も一日、勉強させていただきます。よろしくお願いいたします。

## ○県南分区パストガバナー補佐 群部仁喜様



皆様、こんにちは。しばらくぶりでお邪魔します。本当は前任期中にお邪魔する予定だったんですが、任期末の時は皆さん、夜例会とかそういうのが多くてなかなかお邪魔できなくて、今日になりまして大変申し訳ございません。年度明けを考えてましたけども、年度明けの早々と、それからガバナー公式訪問がありましたので、なかなかお邪魔できる機会がなかったんですね。私のほうも仕事柄ちょっとそれなりに最近コロナだんだん回復しつつあるので、仕事のほうがそれなりに忙しくなってきました。そういうわけもありまして、今日お邪魔することになりました。それからIMの時の報告ということで、それが2~3日前に完成したんですよ。CDになっておりますので、皆さんこれ例会の時間ある時に是非ご覧になっていただきたいと思います。引き続きロータリアンとして皆さんとお付き合いしたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

## ○白河南ロータリークラブ会長 鈴木清次様



どうも皆さん、こんにちは。白河南ロータリークラブ今年度会長の鈴木清次と申します。大変、冒頭ご挨拶に参るの遅くなりまして申し訳ありませんでした。既に、かなり前に佐藤会長さんと村上幹事さんには、白河南ロータリークラブの例会にお越しいただいてご挨拶いただいたんですが、なかなか私と茨木幹事の日程がなかなか合わなかったということもありまして。ただ、私、大変人見知りなものですから一人で来るのも大変躊躇しまして。そうこうしてるうちに、当クラブの佐藤靖一ガバナー補佐とそれから難波分区幹事が今日出席するということなもんですから、その後ろに混ざって今日は出席させていただきました。昨日、うちの例会やったんですけども、本当にここ少数でメンバーも13人というメンバーですので、会員増強が大変な課題であります。そうとこから見れば、随分多くのメンバーの方おられて、そういう意味では大変うらやましい一言ですね。年代もそれぞれの年代の方おられるようすし、例会のほうもきちんと運営されてるようでありますので、まあ私どもの例会は大変ゆるい例会ですけど、そういうこと反省しながら、西ロータリーさんのしっかり勉強させていただいて、私どものほうも少しでも充実した例会にしていきたいと思っております。今日はそういう意味で、勉強させてもらいにまいりました。よろしくお願ひいたします。



## 【米山功労者の表彰】

米山功労者 第3回マルチプル 遠藤敦会員  
米山功労者 第4回マルチプル 金田昇会員  
米山功労者 第4回マルチプル 安部和夫会員

## ■委員会報告

## ○歴史文化研究愛好会

関谷亮一会長



皆さん、こんにちは。本日は大勢のお客様、我がクラブへおいでいただきましてありがとうございます。歴史文化研究愛好会からお知らせをいたします。既に、皆様のところにご案内状が行ってると思うんですが、11月2日、移動例会を行います。場所は、公益社団法人藤田教育振興会藤田記念博物館。藤田龍文会員のところでございます。12時集合ということでございますので、よろしくお願ひいたしたいと思ひます。集まり次第、食事を取りまして、その後この博物館の中を見ていただきまして、後に藤田記念博物館の学芸員の佐川庄司様に解説をいただきまして、「松平定信と谷文晁そして羅漢」ということで、こういう事を題材にいたしまして講演を聞く予定になっております。まだ出欠を報告されていない方、是非早めに出欠をよろしくご報告をお願ひいたします。以上でございます。ありがとうございました。

## ○会計

寺島由和会員



皆さん、こんにちは。会計からのご連絡です。今月は、会費の請求月となっております。ちょっとご報告遅くなりまして申し訳なかったんですが、来週の25日に皆様の口座のほうから引き落としさせていただきますので、ご準備のほうよろしくお願ひいたします。あと、直接お振込みされる会員の方もご準備のほうお願ひいたします。後程、また吉田さんのほうからご案内行くかと思ひますので、ご対応のほうよろしくお願ひいたします。



■本日のプログラム

社会奉仕委員会担当例会

○社会奉仕委員会

増子国安副委員長




社会奉仕委員会のほうのプログラムに移らせていただきます。まず初めに本日講師のご紹介をさせていただきますと思います。山口和真様、現在29歳。白河高校卒業後、東京農業大学醸造科学科に入学いたしまして、その後、同大学院に行きまして、今現在「山口こうじ店」、ご実家のほうに勤められております。東京農業大学醸造科学科、そして同大学院に進学。発酵食品の研究を行う研究室に発酵試験を行いながら、キノコの特異性を研究テーマに、キノコを用いた環境浄化について論文を出されました。その後、実家稼業である「有限会社山口こうじ店」入社し、大学院で得た微生物学的知識から新たな発酵食品の開発を行っております。地元テレビ放送局でのメディア出演や雑誌、新聞等にも多数出演されておまして、本物の味づくりを皆様に食で笑顔と健康を届けております。近年東京での出店もされて、これから全国展開されるというふうなことで、それと耕作放棄地を借り上げてそこで大豆の栽培を行っている。今現在、社会貢献することで会社の発展に尽力されてる山口さんです。それと受賞歴といたしまして、ふくしま産業奨励賞、産業賞、全国味噌鑑評会理事長賞3年連続受賞されております。以上、講師の紹介とさせていただきます。それでは山口さん、よろしくお願いたします。

○有限会社山口こうじ店 専務取締役 山口和真様



皆様、こんにちは。今、ご紹介賜りました「有限会社山口こうじ店」の山口和真と申します。数年前に一度、こちらのほうで発表させていただきました。今回なんですけど手元資料準備させていただきましたが、こちらをスクリーンのほうにも投影させていただきますながら発表させていただきますので、見やすいほうで是非見ていただければと思います。スライドのほう、映させていただきますので少々お待ちください。では、早速始めさせていただきますと思います。よろしくお願いたします。

～～スライド上映しながら卓話～～




# 山口こうじ店

無添加の手作り味噌・麹のお店。


---

社是



## 楽健美味

この言葉のルーツは「医食同源」です。良い食事をとることが健康への第一の近道であり、良い食事を摂ることで楽しい人生を送ることができるのです。私たちは良い原料、良い製法の「美味しい」発酵食品の製造を心掛け、食べる人の人生を楽しく、健やかなものにします。

 山口こうじ店

---


### 山口和真


専務

県立白河高校  
東京農業大学応用微生物学部醸造科学科  
東京農業大学大学院農学部醸造学専攻  
有限会社山口こうじ店入社

保有資格  
・調理師免許・野菜ソムリエ・危険物乙4種  
・ポイラー技士 etc.

趣味 料理・ゴルフ（修行中）など



 山口こうじ店

---

**大学時代**


- ・調理師免許取得のためアルバイトに奔走  
⇒赤坂や三軒などで様々な考え方に触れる
- ・4年次 食品微生物学研究室 入室  
研究テーマ「**キノコを用いた新規発酵食品の開発**」

➔ 微生物のを面白さを実感・大学院進学を決定

**大学院時代**

微生物工学専攻・後輩とともに大学時代の研究を継続

➔ **エビデンスと見せ方の大切さに気づく**  
**発酵食品のエビデンス不足を実感**

 山口こうじ店

---


**山口こうじ店入社 2019年4月**

■危機を実感する

- ・赤字経営 ・毎年売上減少 ⇒ 営業実績0
- ・原料費高騰 ・顧客の減少 ・知名度不足
- ・売る商品がない ・商品開発実績なし etc.

⇒会計士や商工会の指導員からも危うさを厳しく指摘

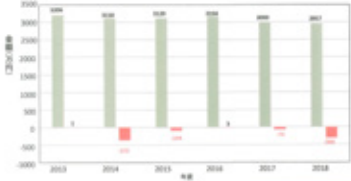
➔ **経営の知識も経験もなかったことから**  
**漠然と危機感を感じていた。**


 山口こうじ店

---

**2019年9月決算**

・法人化以降最低売上 経常損失300万



 山口こうじ店

**なんとかしようと思ってるが・・・**

- ・2019年10月の消費税増税により、10～12月の3か月間、昨対から20～50%売上減少。
- ・様々な小売店に営業をかけるが、知名度&実績がなく、時代にあっていない商品構成で結果がです。

**決定的な出来事が**

必死に申請し、11月下旬の池袋での催事出展を確保！  
東京なら売れるはずと大量に商品をもって出店。

➡ **3日間で1万5千円しか売れず！**



**自社の分析 (2019年当時)**

**強み**

- ・粗利率63% ⇒ 徹底したBtoC戦略の賜物  
BtoC : BtoB = 90 : 10
- ・麹製造技術 ⇒ 酵業力国内トップクラス  
米麹だけでなく、大豆麹なども製造
- ・地域原料使用 ⇒ 低コストで安定した原料調達

**弱み**

- ・顧客の減少 ・新規顧客の獲得ができていない
- ・商品取扱店がほとんどない (BtoB比率が不足)
- ・商品数不足、知名度不足
- ・商品開発したことない、知識がない



**地域環境分析 (2019年当時)**

**福島県**

- ・発酵大国福島 ⇒ 大企業はないが競合他社多数
- ・地域差 ⇒ 3地方ごとの食文化

**白河市**

- ・人口減少 ⇒ 若者の流出と高齢化、流入人口減少  
商店街や地域イベントの衰退
- ・農家減少 ⇒ 農家の高齢化による離農  
耕作放棄地の拡大
- ・知名度、発信力不足 ⇒ ふるさと納税など不人気



**課題解決のために (2019年12月)**

- ① **開発** 技術=知識×経験 発酵食品製造の最高峰に
- ② **農業** 1次産業ありきの2次産業  
1次産業の活性化を図る
- ③ **発信** 知名度と企業価値の向上を図る

**翌年よりコロナ禍に**

3年後黒字を目標



**試作のノルマ化**

毎日5アイテムの試作をノルマ化。出来上がったものは官能検査を行い、データベース化し、検索しやすい状態に。

**新商品開発**

フードロス × 発酵食品 = 相性がいい



**農業**

**耕作放棄地の問題**

農業生産の減少だけでなく、雑草や害獣・害虫の発生による近隣への被害、災害時の危険、景観の悪化など様々な影響

**耕作放棄地を格安で借り上げ**

**大豆栽培**

➡近年の大豆商品の乱立に加え、

海外産大豆の供給が著しく減少

**大豆供給の安定と低コスト化**

➡ **地域農家への技術供与**



**発信**

**メディア戦略**

毎月テレビ1回、新聞2回の掲載を目標

- ・新商品や新サービスの発売とともにプレスリリース配布
- ・学生とのコラボや学校での授業など、メディアに掲載されやすい事を積極的に行う
- ・記者と密接に連携し、話題のキーワードなどを共有

	掲載数
福島民権	40回以上
福島民友	50回以上
テレビ出演	30回以上
ラジオ出演	9回
雑誌掲載	20回以上



**発信**

**学生との町おこし**

白河市東地域

- ・人口減少 ⇒ 若者の流出と高齢化、流入人口減少  
商店街や地域イベントの衰退

➡ **大人だけでなく、子供たちも巻き込めないだろうか。**

**「Smile Moreひがしプロジェクト」**

地元の高校生が地域の問題解決のため、地域企業と協力して町おこしを行うプロジェクト。地域の発酵食品の授業も行う



**課題解決のために (2020年9月時)**

- ① **開発** ⇒13アイテムの商品開発  
試作数1500を超える
- ② **農業** ⇒大豆収量3t
- ③ **発信** ⇒徹底的なメディア露出

【当時の課題】  
経営者として経験も知識も相談できる仲間も少ない。  
全国・海外に普及させるためには何をすべきか。



**同友会入会！(2020年10月)**

- ・押田製材所押田洋平さんから紹介を受けて、同友会入会。
- ・多様な業種の経営者との出会い・例会での学び。
- ・同友会でゴルフデビュー

**経営指針書発表例会 (2021年2月)**

以前より交流のあった金澤拓哉さんなどの経営指針書の発表

➡ **弊社にとって今、一番必要なもの**



**第27期経営指針を作る会参加**

- ・白河支部では6人の参加。コロナ禍で支部ごとリモート開催。
  - ・情報あふれるアドバイザーの方の手厚いサポート。
  - ・入会以前より、自社・環境分析や事業計画などの策定
  - ・社名「家健美味」を会社設立時、会長が立案
- ➡ **経営理念や10年ビジョンなど、あまり悩まず作ることができた**

**経営指針書発表会 (2022年4月16日)**

社内全スタッフと取引企業17社20人の前で指針書の発表





経営指針書発表後～2022年9月

- 取次先 提案や紹介など
- 社内 営業強化・販路拡大など  
衛生管理や製造工程の見直しなど(従業員中心) etc.

10年ビジョンや数値目標を達成するための事業拡大に!

- ・営業の強化と受注増加、人材減少により個々の負担増加
- ・工場設備が小さく、生産能力に限界が生じ、欠品を余儀なくされる。
- ・新商品開発に手が回らなくなる。
- ・スタッフ教育ができず、生産性があがらない。
- ・情報共有する時間が減少し、ミスや失敗が目に見えて増加。



2022年9月 決算 3年前に設定した黒字化達成



スタッフの退職

指針発表後に社員1人、アルバイト3人が退職。  
辞める理由: そのレベルについていけない。  
⇒理念を理解してくれる人だけ残った(1人社員昇格)

理念や方針がなかなか定義しない

理念や方針など、しっかり理解して定義させられていない。  
朝礼などでの読み合わせの実施。定期的なミーティング。

家族の不仲

コミュニケーション不足と過度な負担で家族間で喧嘩が頻発。  
意見や方針の不一致により、会社内の雰囲気が悪くなる。

**社長が私が辞める話し合いにまで発展!**

⇒ 綿密なコミュニケーションと定期会議の実施



2023年度事業転換フロー

①②より、小規模OEM・PB事業の展開

キッチンフリース  
「国内一、最小でかつ最短で発酵食品を作れます!」

- ・試作費 1000円～
- ・多様な麹や味噌も2キロから製造
- ・研究分析も可能(東京農大・分析センター)
- ・国内一小ロットから製造可能(70本～)
- ・飲食店向け専用業務用商品の提案



関東圏の販売拠点の創出

「味噌・醤油からエス・コメドリ・おしんく」が当社のCOPEN

オリジナル甘酒ドリンクと米雑煮

米飯甘酒やトマト甘酒、黄汁甘酒など健康を考えた甘酒。

段階とれない生の甘酒や季節限定の「さくら甘酒」など

ここでしか飲めない甘酒がそろっております!

さらに古米をアップサイクルしたアクセサリーなども販売

アクセス

都営地下鉄 大門駅A6出口より徒歩1分

増上寺の大門の真裏!

米特化のベンチャーとの共同事業

新商品の先行販売やサブプリングなども行う



進捗

BtoC : BtoB比率 ⇒ 50 : 50 2023年6月達成

BtoB内比率(卸売 : OEM、PB) ⇒ 50 : 50 現在80%ほど  
来期以降の新規受注も増加、商品受注数も増加

さらなる差別化を図る

- ・栄養学的な研究の推進やそれに付随した腸活などの専門家としての確立
- ・大学や国立研究機関などとの連携



決算後の展望 このビジネスモデルは継続できない!

- ・景気に左右(BtoC比率が高いため)
- ・必要コストの増大(特に人件費・広告費)
- ・価格競争の土俵に上がらざるをえなくなる

今のやり方で今期の売上を超えることは難しい

さらに2023年は物価高などの影響で  
景気の衰退が予想。



事業転換の必要性

BtoC依存型から、他社と連携して発展していく体制に

BtoC : BtoB比率 ⇒ 50 : 50

BtoB内比率(卸売 : OEM、PB) ⇒ 50 : 50

今期の戦略

- ・BtoC販売網は維持し、広告費や人件費の削減
- ・新商品などは他社とリリースする(OEM、PB)
- ・関東圏の販売拠点の創出



2023年度事業転換フロー

①強みの可視化

- ・小規模で試作、製造ができる。
- ・発酵の知識と経験が豊富(3年間の試作の積み重ね)
- ・様々な容器の利用やシール印刷・補助金利用などの経験豊富

②市場とのすり合わせ(需要の確認)

- ・発酵食品OEM ⇒ 大ロット生産が一般的
- ・試作開発費 ⇒ 割高な傾向
- ・麹製造 ⇒ 特注ロットがかなり高額orそもそも引き受けない



ということで、すみません。ちょっと時間の制限があったもので、この程度で終わらせていただきます。皆さん、ご清聴ありがとうございました。

山口こうじ店  
無添加の手作りの味噌・醤油のお店。

トップページ 取扱商品 産地産品から レシピ集 レビュー一覧 歴史・会社概要

伝承の麹づくりと  
「氷温熟成」の技

創業明治6年。  
昔ながらの製法で丹念に作った麹と、  
旨味をぎゅっと濃縮する「氷温熟成」の技。  
添加物を使用しない、自然な美味しさを。

「美味しさは楽しさ  
美味しさは健康やから」



山口こうじ店HP